



若年妊娠

2011年4月15・16日 於 第38回国際小児保健研究会
国連人口基金(京事務UNFPA)東所長 池上清子

1. 人口問題
2. 途上国の若年妊娠の現状
3. 先進国の若年妊娠の現状
4. 若年妊娠の社会的・身体的影響

Population Issues

人口問題

人が

生まれ、



移動し、



死ぬ。

開発途上国では
「人口爆発」

先進国では
「少子高齢化」

世界人口の推移



※人口増加(約7,900万人/年)の95%が開発途上国

出典: 国連人口基金東京事務所ウェブサイト

- 世界人口70億人(2011年)の半分は25歳未満の人口

- 人生の基礎

- 情報不足、アクセスしにくい

性比バランス



■ 出生時 男 > 女

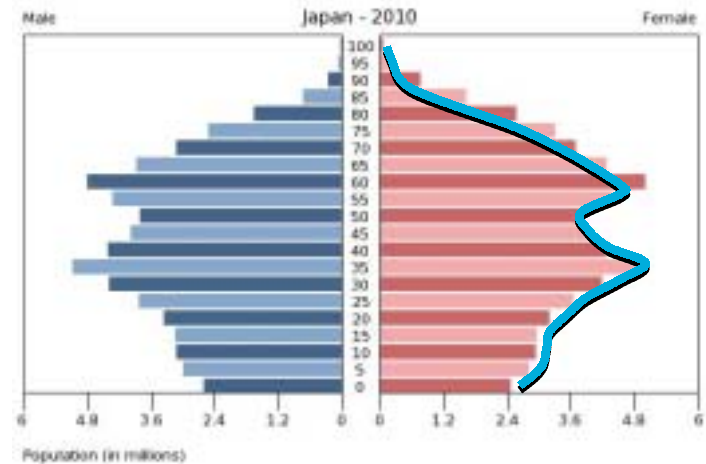


■ 成人 男 = 女



■ 高齢 男 < 女

日本の人口ピラミッド



↑ 男性に対して、女性が約300万人多い

- 出生時には生物学的理由から男児が多い(女児100に対して男児103~107)
- しかし、男性は一般的に一生を通じて死亡率が高い
- その結果、全人口で見ると世界のほとんどの国で女性が多い(日本では、男性:女性=95.1:100)

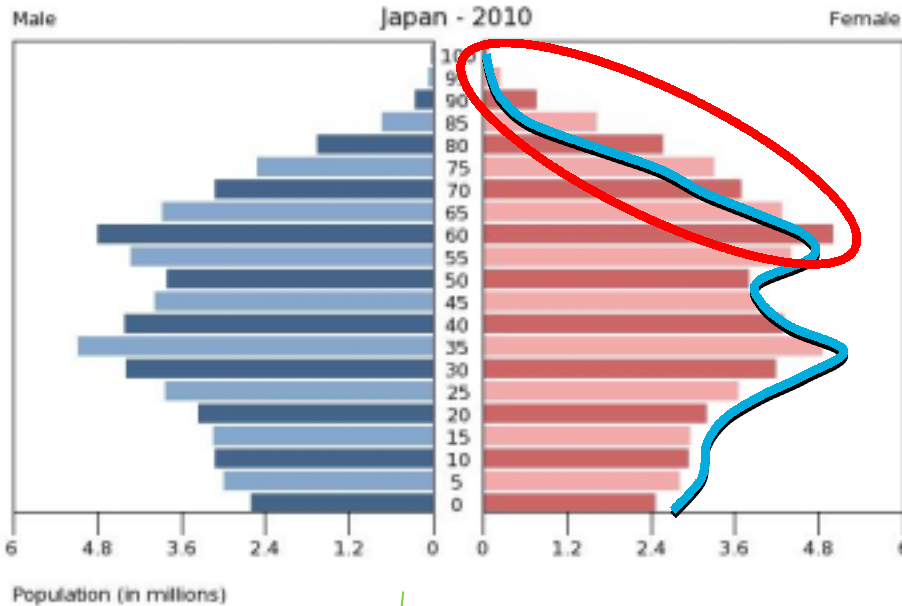
性比バランス: その社会のウェル・ビーイング(良好な状態)を示す指標

出典: U.S. Census Bureau, International Data Base

性比バランス



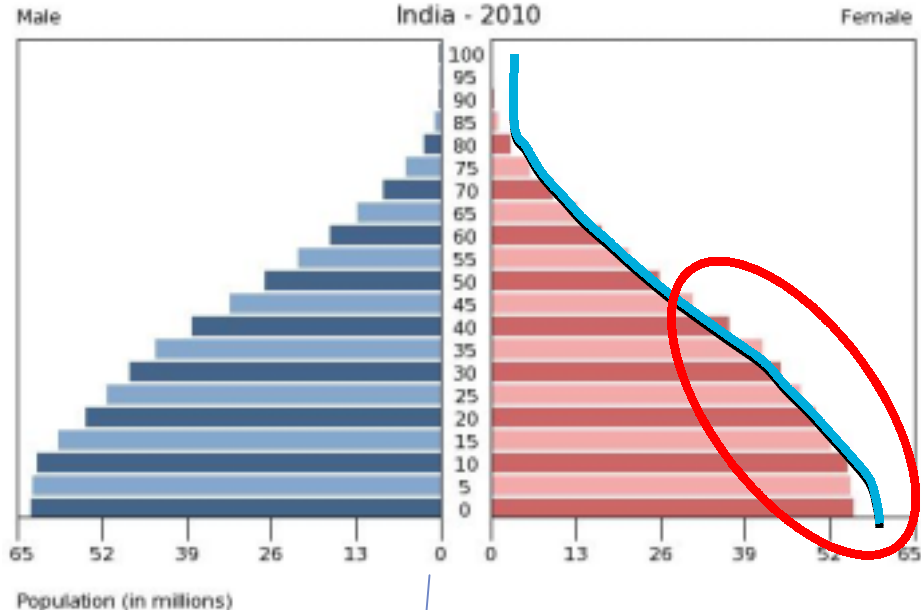
日本の人口ピラミッド



<日本の人口>

- 女性に対し、男性が約300万人少ない
- 男性:女性=95.1:100

インドの人口ピラミッド



<インドの人口>

- 男性に対し、女性が約500万人少ない
- 男性:女性=107.8:100
- ・・・なぜ？

Adolescent Pregnancy in Developing Countries

途上国の若年妊娠の現状

ミクロの視点



希望する
子ども数の平均

合計特殊出生率
(TFR: 1人の女性が生涯に産む
子どもの平均数)

ガーナ	都市部	3.9(2008)	3.1(2008)	4.0 (2008)
	農村部	4.7(2008)	4.9(2008)	
フィリピン	都市部	2.7(2008)	2.8(2008)	3.3 (2008)
	農村部	3.1(2008)	3.8(2008)	
日本		2.48(2005)	1.37(2009)	

出典: 日本) 社会保障・人口問題研究所『第13回出生動向基本調査』、2006
厚生労働省『平成21年人口動態統計月報年計(概数)』、2009
DHS(ガーナ・フィリピン)、2008

開発途上国の若年出産



	15-19歳の出産数 (1000人当たり)	避妊実行率(%)	
		何らかの方法	近代的避妊法
コンゴ 民主共和国	201	21%	6%
チャド	164	3%	2%
ニジェール	157	11%	5%
アフガニスタン	121	19%	16%
東ティモール	54	10%	7%
ハイチ	46	32%	24%

出典：世界人口白書2010年

新しい命のために
失くしていい命なんてない



性と生殖に関する健康とは？

女性の健康
母子保健
安全な妊娠・出産



つまり、「一人ひとりのお母さんの健康を守る」、
「女性、カップル(男女)の選択を保障する」

性と生殖に関する健康/権利とは



「性と生殖に関する健康/権利」の概念

- 「生命の再生産過程」=次世代をつくることに関わる保健ニーズを総合的に把握する枠組みで、1994年の国際人口・開発会議で公式に定義され、国際社会で認知

「性と生殖に関する健康」とは？

- 生殖の仕組み、機能、過程のすべての側面において、単に疾病・障害がないというだけでなく、身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態にあること(ICPD行動計画第7章7.2)

「性と生殖に関する権利」とは？

- すべてのカップルと個人が、自分たちの子どもの数、出産間隔、および出産する時期を責任をもって自由に決定でき、そのための情報と手段を得ることができるという基本的権利 (ICPD行動計画第7章7.3)

- 子どもの生存
- 母子保健
- 思春期保健
- 家族計画
- 人工妊娠中絶
- 不妊への取り組み
- HIV/エイズを含む性感染症 (STI)
- 更年期障害
- その他
(FGM等のharmful practiceの防止を含む場合もある)

性と生殖に関する健康/権利の指標



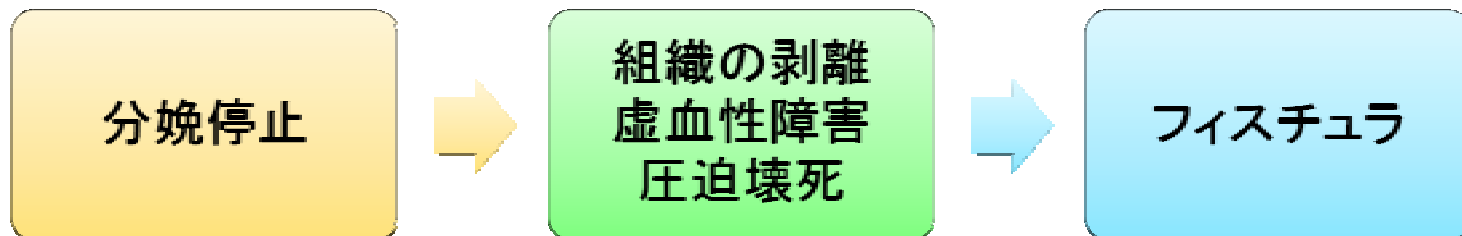
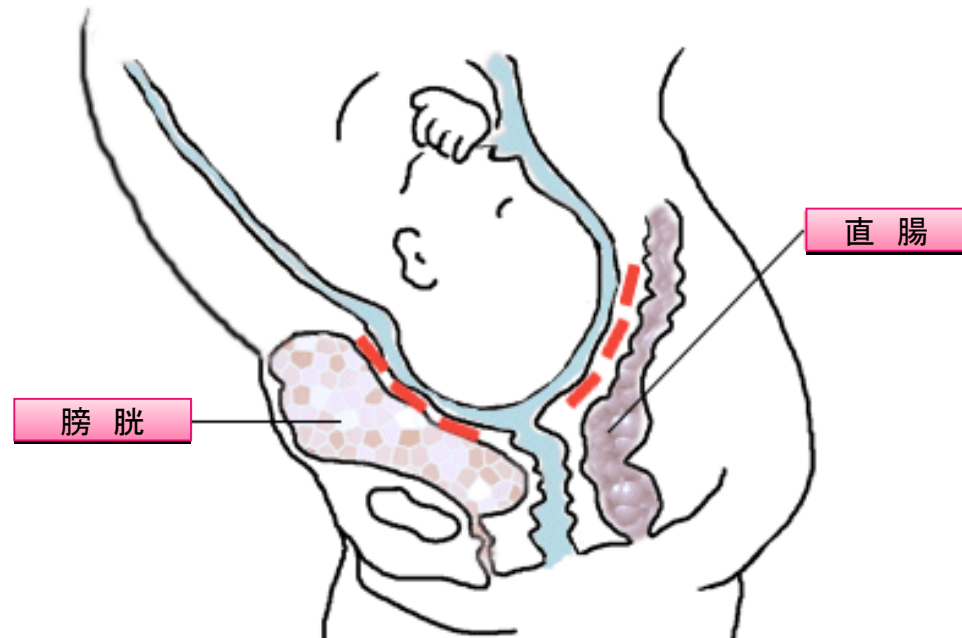
- 結婚、離婚、財産所有、相続に関する権利
- 女性の結婚に関する合意
- 法的結婚年齢
- 家族計画実行率
- 女性国会議員と女性公務員の割合
- 出産休暇
- 労働力に占める女性の割合
- 初等、中等教育の女性の就学率
- 男性に対する女性の識字率
- 乳児死亡率
- 訓練を受けた出産介助人が立ち会った出産率
- 妊産婦死亡率(MMR)
- 15～19歳の出生率
- 合計特殊出生率(TFR)

若年出産の弊害

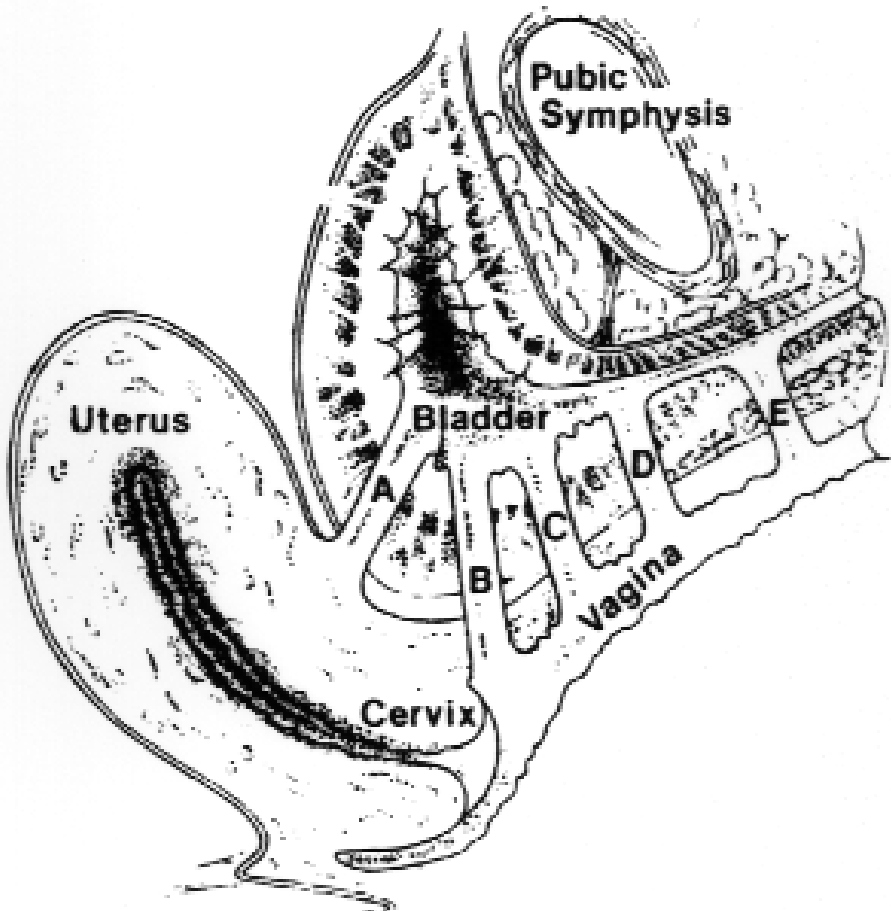
フィスチュラ(産科ろう孔)



- 膣、直腸、膀胱、腹腔、子宮など、産科に関連する器官がつながったり、孔(あな)があくことによっておこる女性の疾患
- 難産や、適切な産科ケアを伴わない出産・人工妊娠中絶、女性性器切除、性感染症、性的暴力などにより生じる



フィスチュラー5つのタイプ



泌尿生殖器ろう孔の5タイプ
分娩停止の箇所によりろう孔
が生じる場所が異なる

- A)子宮-膀胱ろう孔
- B)子宮頸-膀胱ろう孔
- C)膣膀胱中間-膣ろう孔
- D)膀胱-膣ろう孔
(膀胱頸部に及ぶ)
- E)尿道-膣ろう孔

From Elkins (1994)

フィスチュラ(産科ろう孔)



- 世界で少なくとも約200万人に上る女性や少女が悩まされ、毎年5万から10万人の患者が増加しているといわれる
- 慢性的失禁などを伴うことが多いため、患者は社会的疎外や差別を受けることが多い
- フィスチュラが原因で、皮膚感染や、腎疾患を患ったり、死に至ることもある
- 90%の確率で、手術で完治(約300ドル)

なぜ世界では今もフィスチュラが 発生しているのか？



- 若年妊娠・出産
- 妊産婦健診等のヘルスケア・システムがない
- 貧しい、病院が遠いなどの理由で自宅出産
- 医療従事者の介助無しのお産
- 貧しい等の理由で罹患後の治療が受けられない



へき地の、貧しい、若い女性
の罹患率が高い

カブラさんの場合(ニジェール)



カブラさん(25歳)は、15歳で結婚し、3人の子を産みました。

- 3人目の出産の時、荷馬車で病院に着くまで2日間も陣痛に苦しんだため、フisstチュラ(産科ろう孔)という病気になった
- 夫から見捨てられ、近所の人たちにも軽蔑される

- フisstチュラは3万円で治療できる病気
- 問題: 病院の設備が整っていない、手術費が払えない、正しい知識がない
- 国連人口基金による3つの対策
 - 1) 助産師の育成
 - 2) 病院への支援
 - 3) 手術を受けた女性が社会復帰できるように経済的援助

手術でフisstチュラが治った
カブラさん ©UNFPA



Adolescent Pregnancy in Developed Countries

先進国の若年妊娠の現状

若年妊娠



- ICPD 行動計画(1994年)
思春期保健は親のガイダンスの下で実施する。
- ICPD+5 行動提案(1999年)
2005年までに、15歳から24歳の若い世代の90%が、HIV感染を防ぐために必要な情報やサービスを利用できるようにする。
- 世界人口の2人に1人が25歳以下。
- 世界人口の5人に1人(130億人以上)が、10歳から19歳の思春期。
うち、85%が途上国に住んでいる。
- 思春期 = 人生設計の時期
思春期 10-19歳
若者 15-24歳
青少年 10-24歳 (WHOの定義による)

若者(15~19歳)の各国比較



	15-19歳の人口 (1000単位) (構成割合)	15-19歳の中絶 率 (全女性人口1000対)	15-19歳の出産 (全女性人口1000対)
オランダ	1021 (2010年) (6.00%)	4.5 (2003年)	4 (2010年)
米国	22413 (2010年) (6.92%)	19.3 (2006年)*	36 (2010年)
日本	6037 (2010年) (4.75%)	7.1 (2009年)**	5 (2010年)

*出典:Guttmacher Institute(2010)U.S. Teenage Pregnancies, Births and Abortions National and State Trends and Trends by Race and Ethnicity

**出典:20歳未満の数値(厚生労働省報道発表資料統計情報部(2009)「衛生行政報告例結果の概況」)

オランダ



概略

- オランダの性教育はたいへん充実している。包括的性教育が実施されており、15-19歳の出生、中絶率は世界の中でも低い水準。

歴史

- 1969年：避妊薬（具）の販売およびコンドームの自動販売機の設置合法化
- 1971年：ピル費用の公的健康保険適用
- 1980年：性教育の推進者向け養成講座を大学内に設置
- 1981年：中絶の合法化
- 1993年：以降：性教育の義務化
- 2000年：同姓結婚法の成立



オランダ

5歳から始まる小学校での性教育



- 義務教育年齢: 5歳から18歳
学費は無料
- 初等教育: 5歳(希望すれば4歳から入学可)から12歳
- 中等教育: 目的別の4コースに分かれている
 - ①職業準備教育(4年制) → 16歳で義務教育終了
 - ②ジュニア一般中等教育(4年制) → 16歳で義務教育終了
 - ③シニア一般中等教育(5年制) → 17歳で義務教育終了
 - ④中等教育大学進学コース(6年制)
- 一人ひとりの生徒の多様な将来の目標に合わせて、多様な選択肢が用意されている。生徒の選択を尊重することが、オランダの教育システムの大きな特徴。

オランダ

5歳から始まる小学校での性教育



- 健康増進プログラム「Living Together」
- 「性教育」という定型的な授業が行われたり、国が制定したカリキュラムや教科書があるわけではない
- 小学1年生(5歳)から性教育を実施する学校もある(性に関する情報が思春期を待っているのは遅いとの考えから)
- 教材の選択: 教師の裁量に任せられ、多種多様
 - 教材作成→国の教育文化科学省
 - オランダ家族計画協会、教材会社
 - 教育法案考案→オールタナティブ・スクール
 - という民間団体など



出典: Teacher's TV

オランダ

5歳から始まる小学校での性教育



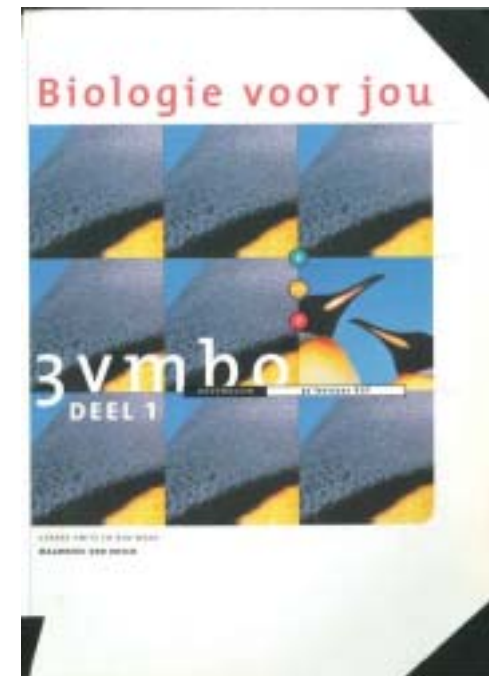
- 多様な教育の機会：
 - 「自然」という教科や他の教科の授業中
 - 課外活動中
 - 子どもたちが「性について話したい、質問したい」というとき、
気軽に教師に話しかけられるような環境がある

- 大学の教育学部のカリキュラム：
 - 「性教育とは何か。性教育はどのように行うべきか。」といった科目が組み込まれている
 - 教師を志す人は必ず、性教育と真正面から向き合う

オランダ 中等学校の性教育



- 4コース中どのコースも最初の3年間は共通のコア・カリキュラム
 - コア・カリキュラム: 全16教科、「性」関係は「ケア」と「生物学」の2教科
 - 「ケア」: 1993年から導入、中等学校前期の必須科目
 - ①「ケアについて学ぶ」
(性教育、この中の「パーソナル・ケア」の項目に入る)
 - ②「ケアすることを学ぶ」
 - 「生物学」:
 - ①「生物学的スキル」
 - ②「人間」(性教育)
 - ③「動物と植物」
 - ④「自然と環境」
 - ⑤「遺伝と進化」
- 「人間の身体とライフサイクルについて」の項目
-「セクシャリティと生殖について」の項目



オランダの中学生の生物の教科書

オランダ 性教育



- オランダの性教育が充実している理由：
 - ①学校を取り巻く環境の組織的な整備
 - ②子ども達が包括的な性教育を受けられる
- 家庭、地域、ボランティア・グループなどの連携による子どもたちへのリプロダクティブ・ヘルスケア(性と生殖に関する健康のケア)教育、性に関するカウンセリングを実施
- 学内外での性教育の内容
 - ①学内の看護師が生徒の話を聞き、家族計画の情報・サービスを受けるよう勧める
 - ②学校での個人相談のフォローアップ
 - ③オランダ家族計画協会運営のクリニックにおける情報とサービスの提供
 - ④自宅付近の開業医や家庭医から、安価で避妊薬・避妊具の提供を受けたり、カウンセリングを受けたりできる
 - ⑤「エイズ予防」、「夏休みの安全な性」、「コンドーム使用の促進」など、テレビを使ったキャンペーン展開

今日では、③のクリニックは若者たちにとってすっかり身近な存在。ここで避妊具の提供を受けたり、性に関するカウンセリングを受けることがごく当たり前。クリニック側も6項目の「ユースフレンドリー原則」に従って対応。

オランダ ユースフレンドリー原則



●ユースフレンドリー原則

- ①若者の性や性行動を認める(否定しない)
- ②相談された秘密は守る(プライバシーの保護)
- ③善悪の判断をしない(価値観を押し付けない)
- ④親の承認を必要としない(若者を一人前の人間として認める)
- ⑤避妊薬・避妊具の処方に際して、子宮内診や膣細胞診を初期治療で実施しない
- ⑥書類は必要最小限に抑える

アメリカ 性教育



概略

「包括的性教育」
(Comprehensive
Sexuality Education)
の推進

VS

「結婚まで禁欲のみ」
(Abstinence Only Until
Marriage)
教育推進の保守派

歴史

- 1964年: 「米国性教育情報協議会」(民間団体)の創設
- 1970年: メリーランド州で最初に学校性教育が義務付けられる
- 1970年代後半: いくつかの州が性教育を義務化
- 1980年代: AIDS流行が問題 → 予防の観点からAIDS教育を義務化する州が増える
- 近年: 公立学校の性教育義務付け → 21州 + コロンビア特別地区
義務付けていない → 13州 (性教育、STD・HIV教育)
STI/HIV教育の義務付け → 37州とコロンビア特別地区

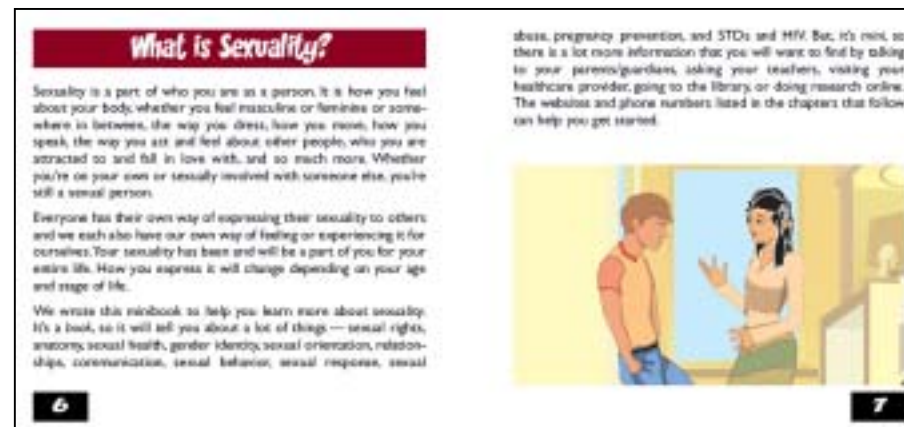
アメリカ 性教育



包括的性教育

- 主に民間団体の手により推進
(1964年創設「米国性情報・教育評議会SIECUS (Sexuality Information Education Council of the United States)」、
本部ニューヨーク)

→長年包括的性教育推進のための
情報提供とアドボカシーの中心



“Talk About Sex”16-24歳向け小冊子
(出典: SIECUS)

アメリカ 性教育



小・中・高校の学習内容・指導要領

- 教育制度: 各州にゆだねられている

連邦政府の教育省(Department of Education)は

日本の文科省のように全国規模の統制力なし

公立学校の教育内容は、地域学区の教育委員会(School Board)で決められる

性教育

- 実施にはばらつきがあるが、一般的には7年生から9年生に集中
- 健康(health)教育、または科学(science)教育の授業の一部として行われることが多い

- 教師:

- 体育課教諭、保健教育教諭、生物科教諭、家庭科教諭、スクールナース等

- 性教育を教えるための訓練を受けていない教師が教える場合も多い

- 性教育を担当する人に何らかの研修、資格などを義務付けているのは6州

日本 性教育の歴史



- 戦後:「純潔教育」としてスタート
- 1947年:文部省により敗戦後初の学習指導要領発行
- 1949年:純潔教育→性教育
 - 中学校・高等学校の体育科→保健体育科へ
 - 「健康教育」(性教育と関わるテーマ含む)が学校教育の中に位置づけ
- 1950年代後半:再び性教育→純潔教育
 - 社会教育内で展開されていた性道徳を強調する純潔教育への指向が強まる
 - 科学的知識中の性教育実施に対しては批判が
- 1960年代半ば～70年代:純潔教育→性教育
- 1972年:財団法人日本性教育協会(JASE)設立
- 1981年:全国性感育研究団体連絡協議会(全性連)結成
- 1982年:日本初の民間性教育団体 (“人間と性”教育研究団体(性教協))誕生
- 1992年:「性教育元年」を境に日本の性教育は大きな変化を迫られる
- 20世紀末・権利としての性の健康(04年カイロICPD、05年北京世界女性会議)

日本 若者の意識調査



- NPOティーンズサポートのアンケートによる若者の意識調査
 - ティーンズルーム：
 - ティーンズスタッフによる無料相談
 - 医師や保険師による専門家相談
 - 自己採取による性感染症検査
- ➡ サービスとして提供
- アンケート2009年夏季(対象:101名、13~30歳以上)
 - 初体験の年齢(多い順):16歳(20%)、25以上未(17%)、15歳(17%)
 - これまでの性交経験人数:1人(29%)、4~9人(21%)、2人(16%)
 - 避妊法や性感染症の予防についての相手との相談頻度：
 - よく相談(37%)、あまりしていない(45%)、まったくしていない(18%)
 - 主な避妊法:男性用コンドーム(73%)、女性用コンドーム(3%)、
膣外射精(13%)、ピル(8%)、危険日を避ける(3%)

日本のユースとHIV



- HIV感染者の性別、年齢別報告数
(平成22年3月29日～6月27日)

	日本国籍		
	男	女	計
10歳未満	0	1	1
10～19	3	1	4
20～29	75	4	79
30～39	83	1	84
40～49	37	3	40
50歳以上	32	3	35
不明	0	0	0

出典: 厚生労働省エイズ動向委員会平成22年8月13日
「平成22年第2四半き エイズ発生動向」

- 若年妊娠の社会的・身体的影響:

継続ケアの必要性
(母子保健、特に妊婦の健康から新生児、
子ども思春期と継続の重要性)

ユースの自己決定権・エンパワーメント

人生の基礎づくり、アクセスの悪さ

Thank you !



ご静聴ありがとうございました

国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル7階

Tel: 03-5467-4684 Fax: 03-5467-8556

tokyo.office@unfpa.or.jp

www.unfpa.or.jp/mothers

twitter.com/UNFPA_Tokyo